

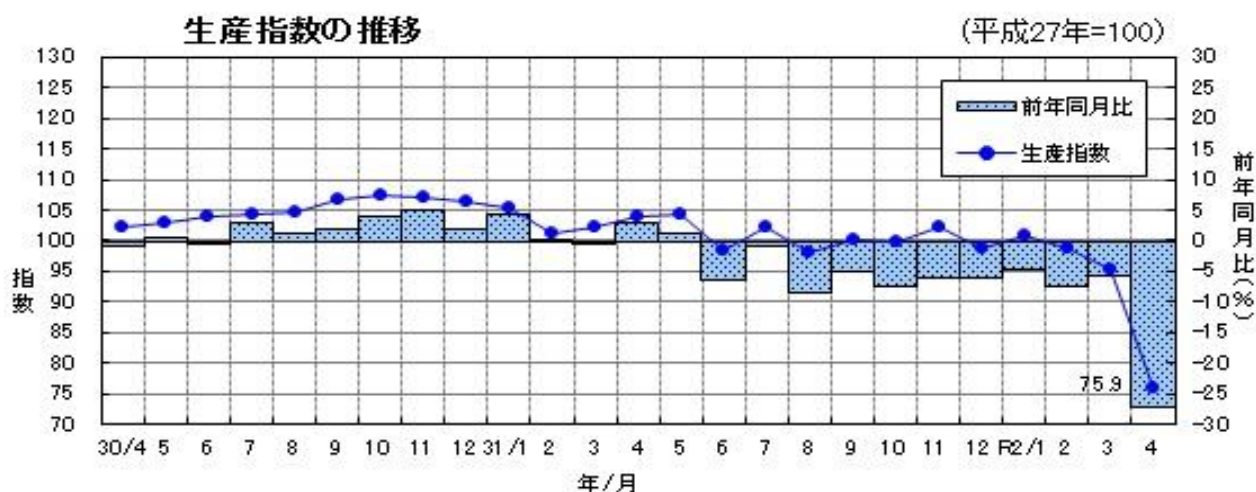


1 生産指数の動き

令和2年4月の鉱工業生産指数(季節調整済:平成27年=100)は**75.9**となり、前月比は**20.4%減**と3か月連続して低下した。

また、前年同月比(原指数)は**27.0%減**と11か月連続して前年を下回った。

業種別の前月比(季節調整済指数)では、情報通信機械、窯業・土石製品、印刷等が上昇する一方、輸送機械、電気機械、汎用・生産用・業務用機械等が低下した。

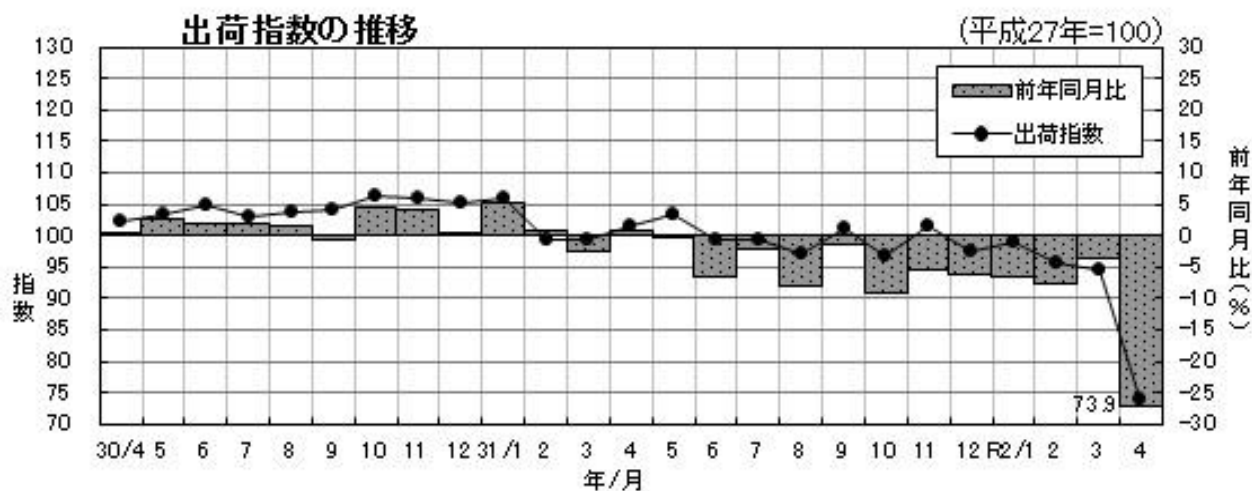


2 出荷指数の動き

令和2年4月の鉱工業出荷指数(季節調整済:平成27年=100)は**73.9**となり、前月比は**21.9%減**と3か月連続して低下した。

また、前年同月比(原指数)は**27.4%減**と12か月連続して前年を下回った。

業種別の前月比(季節調整済指数)では、情報通信機械、繊維、印刷等が上昇する一方、輸送機械、化学、汎用・生産用・業務用機械等が低下した。

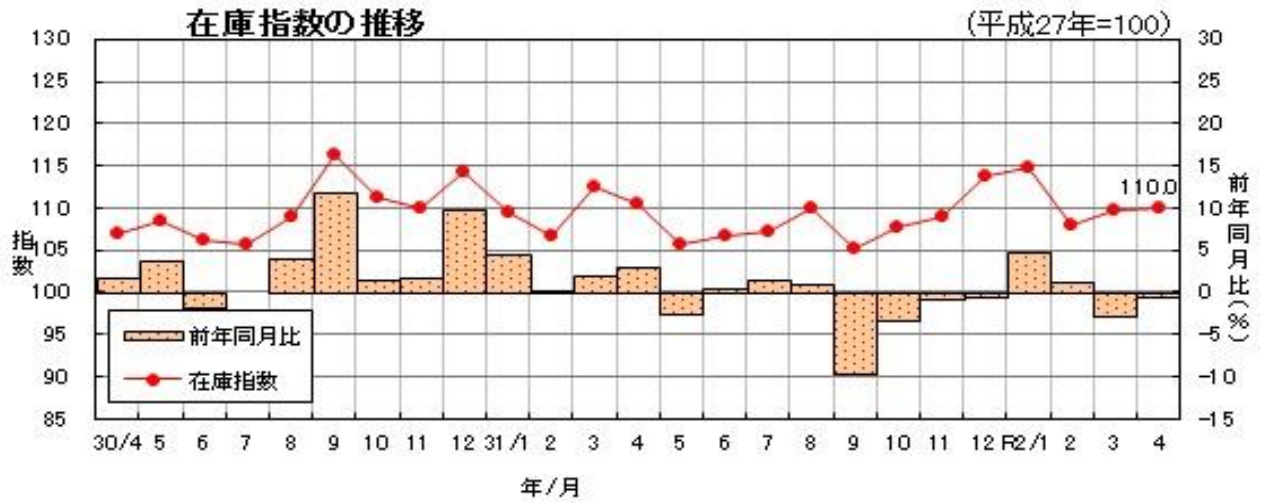


3 在庫指数の動き

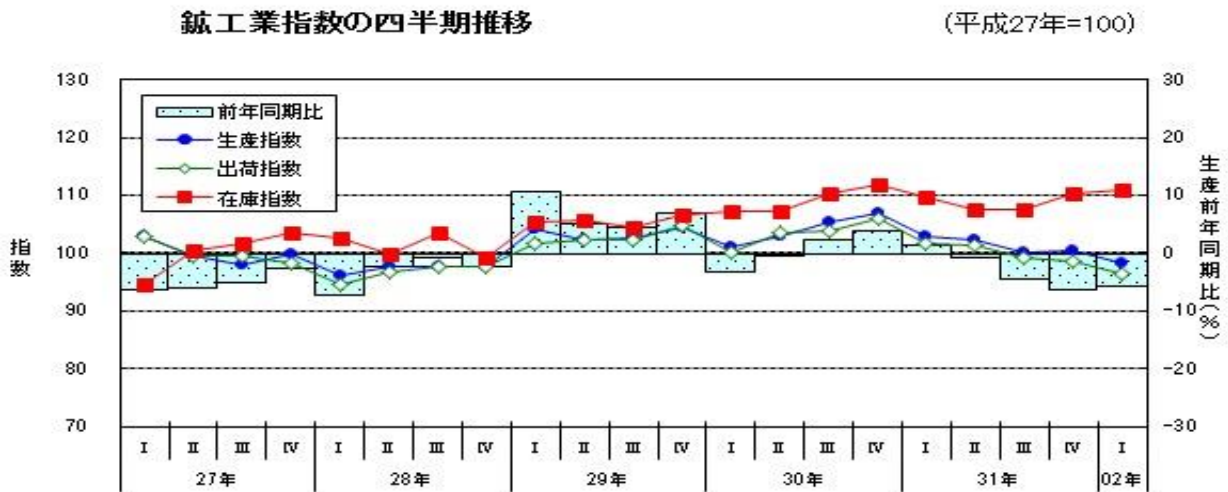
令和2年4月の鉱工業在庫指数（季節調整済：平成27年=100）は**110.0**となり、**前月比は0.4%増**と**2か月連続して上昇**した。

また、**前年同月比（原指数）は0.4%減**と**2か月連続して前年を下回った**。

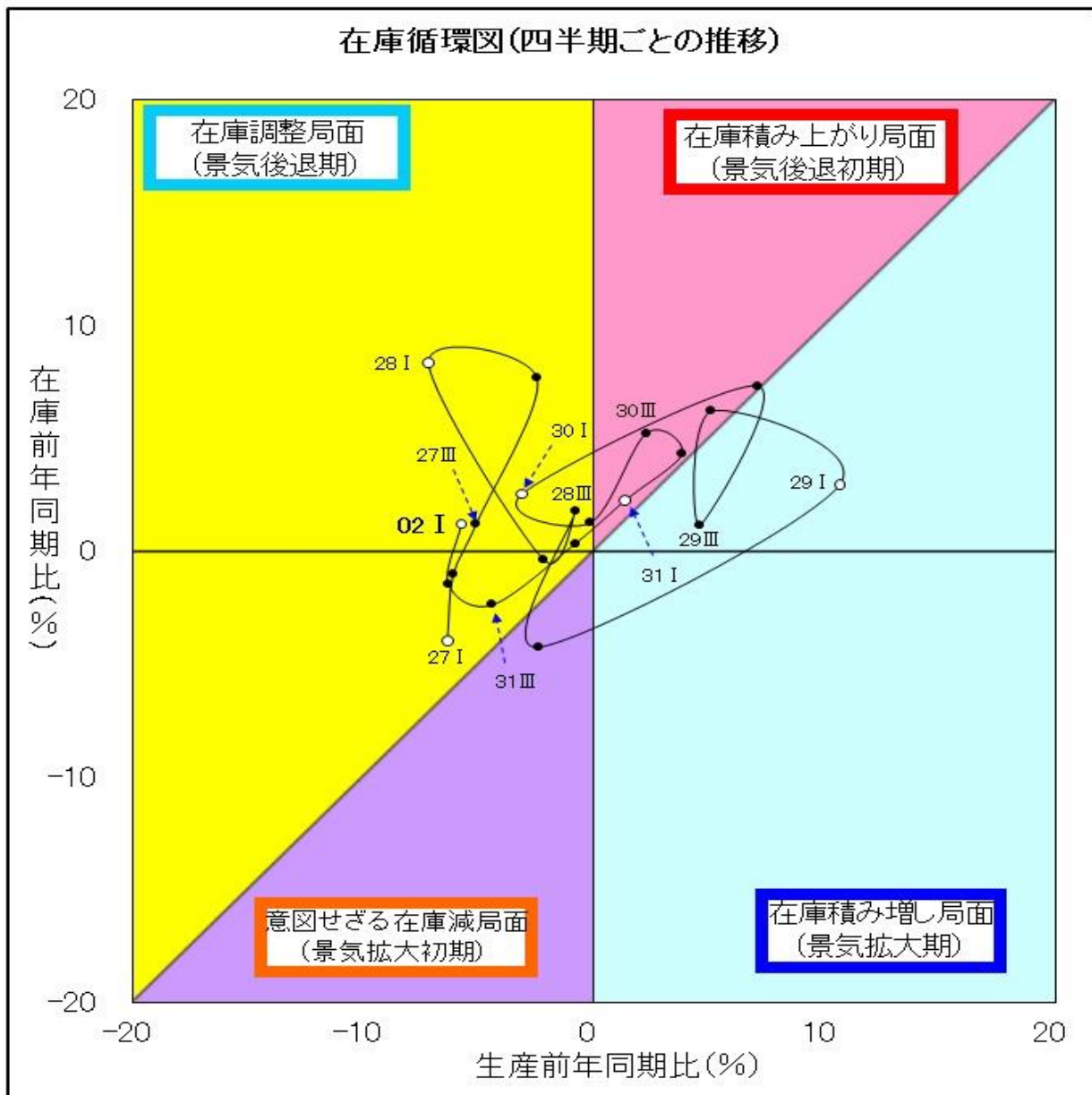
業種別の前月比（季節調整済指数）では、非鉄金属、食料品・たばこ、窯業・土石製品等が上昇する一方、輸送機械、化学、パルプ・紙・紙加工品等が低下した。



<参考1> 四半期推移及び在庫循環図



在庫循環



- ・ **在庫積み増し局面（景気拡大期）**
需要が供給より多くなると、生産を拡大し、在庫を積み増して需要に対処する。
- ・ **在庫積み上がり局面（景気後退初期）**
供給が需要より多くなってくると、生産の伸びが鈍化し、在庫が適正水準を超え、在庫の積み上がりが起こる。
- ・ **在庫調整局面（景気後退期）**
適正水準を超えた在庫を減らすため、生産を抑え、在庫調整を図る。
- ・ **意図せざる在庫減局面（景気拡大初期）**
需要の増加に生産が追いつかず、在庫が減少する。